

浜の活力再生プラン  
令和 6 ～ 1 0 年度  
第 2 期

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	西彼南部漁協地域水産業再生委員会
代表者名	会長 永田 直樹（西彼南部漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	西彼南部漁業協同組合、株式会社 KPG HOTEL&RESORT (i+Land nagasaki) 伊王島加工組合、長崎県（県央水産業普及指導センター）、 長崎市（水産農林部水産振興課）
オブザーバー	—

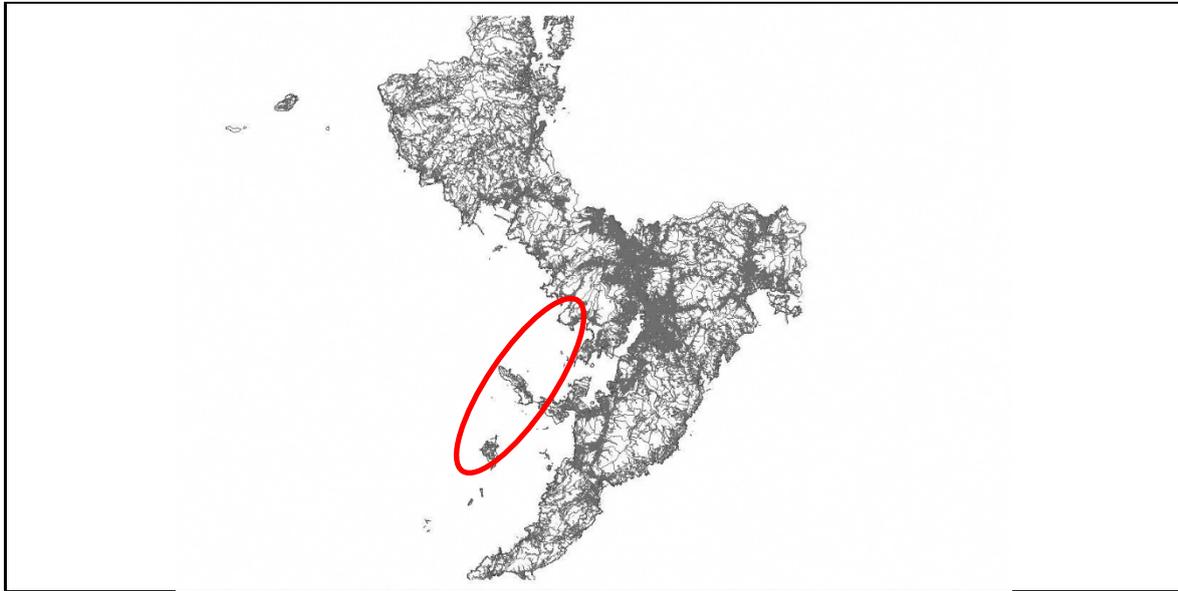
対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地域の範囲：西彼南部漁協地区内（伊王島・香焼・高島） 対象漁業者数：39経営体 対象漁業種類：一本釣漁業 12経営体 刺網漁業 27経営体 小型定置網漁業 1経営体 釣延縄漁業 52経営体 採介藻漁業 5経営体 *両業種を兼業する経営体あり (令和5年2月28日時点)
-------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

西彼南部漁協は、令和5年4月に旧長崎市福田漁協を吸収合併し、新体制となった。  
主力漁業は一本釣・刺網漁業、主要な漁獲物はイセエビ、カマスであり、令和4年度の取扱量は伊王島・高島地区が30 t / 水揚高3,860万円、福田地区は10 t / 988万円である。  
水揚げされた漁獲物は主に長崎魚市場に出荷しているが、カマスについては、コロナ禍で航空便が中断した時期を除いて、良質な鮮魚を大消費地へ直接販売することにより、安定した販売単価の維持と漁業収入の安定を図っている。  
また、令和5年4月時点の組合員数は合併により99名（正組合員55名・准組合員44名）であるが、本プランに係る地区（伊王島・香焼・高島）の組合員数は40名（正組合員29名・准組合員11名）となり、組合員の約6割が60歳以上であり高齢化が進んでいる。  
近年の漁家経営を取り巻く状況は、気候変動等による水産資源の減少、燃油や漁業資材の高止まり等で厳しい状況が続いている。

【合併後の西彼南部漁業協同組合】



(2) その他の関連する現状等

リゾートホテル (i+Land nagasaki) の集客により伊王島の観光地としての知名度は向上している。今後、観光業と連携した水産業の振興に取り組む余地は大きいと思われる。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

A large empty rectangular box intended for reporting on the results and issues of the previous beach revitalization plan.

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>1 漁業収入向上のための取組</p> <p>(1) 販売事業の強化</p> <p>① 関東・関西への直販について、ブランド力を生かしたPR強化や漁獲物の高鮮度処理による品質向上により販売単価向上を図る。</p> <p>② 漁協による直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の販売を行う。</p> <p>③ 朝市の継続実施により、伊王島水産物の認知度向上を図り、集客力を高めることで販売額の増加を図る。</p> <p>④ クロカマス加工品について、製造人員の確保に努め、イベント出店や商談会への機会を創出し、販売量・額の増加を図る。</p> <p>(2) 観光業との協業</p> <p>① 市内ホテルへの活鮮魚・水産加工品の販売により、漁業収入の増加を図る。</p> <p>② 漁業体験（定置網漁業）の受入態勢を整備し、観光業と連携した取組を行うことで、収入の増加を図る。</p> <p>(3) 漁場環境の整備</p> <p>① 藻場再生活動に継続的に取り組む。</p> <p>② 主力魚種であるイセエビの資源管理に取り組む。</p> <p>2 漁業コスト削減のための取組</p> <p>① 船底清掃や減速航行等の省燃油活動を継続する。</p> <p>② 漁業経営セーフティーネットの加入を促進する。</p> <p>3 漁村の活性化のための取組</p> <p>① 新規漁業就業者の確保・育成と漁業技術向上に取り組む。</p> <p>② 地域イベント「伊王島豊漁祭」の開催により伊王島水産物の認知度向上と交流人口の拡大を図る。</p>
--

(3) 資源管理に係る取組

水産生物の採捕については、漁業調整規則、漁業調整委員会指示及び当漁協共同漁業権行使規則等に規定された制限又は条件等を遵守するとともに、地域内の漁業者間で取り決めに基づき資源の適正な管理に努める。

魚種	採捕期間	体長等の制限
イセエビ	8月21日から5月20日まで	体長15cm以下（眼の付根から尾端）
アワビ	12月21日から10月31日まで	殻長10cm以下
サザエ	周年	殻蓋長径2.5cm以下
マダコ	3月1日から8月20日まで	体重100g以下
ナマコ	11月1日から3月31日まで	

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）8.87%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>○販売事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁協は、主力魚種であるアカカマスについて、関東関西への直販を継続して実施し販売単価の向上を図る。また、アカカマス以外の魚種についても直販を検討する。</li> <li>・ 漁業者と漁協は、「伊王島日の出カマス」の安定した品質管理と出荷方法について検討するとともに、鮮度保持処理に係る技術等の導入について調査する。漁協は、市内飲食店との取引拡大に努める。</li> <li>・ 漁協は、アカカマスの直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の製造販売を行う。</li> </ul>
---------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、毎月の朝市開催を継続し伊王島水産物の認知度向上を図り販売額の増加につなげる。</li> <li>・漁業者と加工組合は、需要が高まるクロカマス加工品「カマスティック」について、安定した原料確保に努めるとともに、製造量の増加に対応できる人員を確保する。また、各種イベントや商談会に出品し、更なる販路拡大に努める。</li> </ul> <p>○観光業との協業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、市内ホテルへの鮮魚・加工品の直販を実施し漁業収入の向上につなげる。</li> <li>・漁業者と漁協は、体験漁業等の受け入れ態勢を構築するため地元観光事業者や地域おこし協力隊と連携して計画を策定する。</li> </ul> <p>○漁場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、地元のダイバーと協力しながら食害生物の除去活動を継続し藻場の再生に取り組む。</li> <li>・漁業者は、休漁期間を設定しイセエビの資源保護に取り組む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底、プロペラ、舵清掃を徹底し燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁業者は、減速走行の徹底により燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティーネットへの加入を促進する。</li> </ul>
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、県、市との連携のもと公的支援事業を活用し、新規漁業就業者の確保・育成と新規漁業就業者の漁業技術の向上に取り組む。</li> <li>・漁協は、市との連携のもと伊王島朝市のPR及び伊王島豊漁祭の開催により伊王島の水産物の認知度向上と交流人口の拡大を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業 水産多面的機能発揮対策事業 経営体育成総合支援事業 漁業と漁村を支える人づくり事業 新たにチャレンジ水産経営応援事業</p>

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）11.07%

漁業収入向上のための取組	<p>○販売事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、主力魚種であるアカカマスについて、関東関西への直販を継続して実施し販売単価の向上を図る。また、アカカマス以外の魚種についても直販を検討する。</li> <li>・漁業者と漁協は、「伊王島日の出カマス」の安定した品質管理と出荷体制を整える。鮮度保持処理に係る機器導入について検討する。漁協は、市内飲食店との取引拡大に努める。</li> <li>・漁協は、アカカマスの直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の製造販売を行う。</li> <li>・漁業者と漁協は、毎月の朝市開催を継続し伊王島水産物の認知度向上を図り販売額の増加につなげる。</li> <li>・漁業者と加工組合は、需要が高まるクロカマス加工品「カマスティック」について、安定した原料確保に努めるとともに、製造量の増加に対応できる人員を確保する。また、各種イベントや商談会に出品し、更なる販路拡大に努める。</li> </ul> <p>○観光業との協業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、市内ホテルへの鮮魚・加工品の直販を継続するとともにニ-</li> </ul>
--------------	--

	<p>ズに合わせた商品開発を行い漁業収入の向上につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、定置網漁業の導入を検討するとともに行政の支援等を調査する。</li> <li>・漁業者と漁協は、体験漁業等の受け入れ態勢を整備するため地元観光事業者や地域おこし協力隊と連携して運営体制を整える。</li> </ul> <p>○漁場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、地元のダイバーと協力しながら食害生物の除去活動を継続し藻場の再生に取り組む。</li> <li>・漁業者は、休漁期間を設定しイセエビの資源保護に取り組む。</li> <li>・</li> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底、プロペラ、舵清掃を徹底し燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁業者は、減速走行の徹底により燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティーネットへの加入を促進する。</li> </ul>
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> <li>・漁協は、市との連携のもと伊王島朝市のPR及び伊王島豊漁祭の開催により伊王島の水産物の認知度向上と交流人口の拡大を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業 水産多面的機能発揮対策事業 経営体育成総合支援事業 漁業と漁村を支える人づくり事業 新たにチャレンジ水産経営応援事業</p>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）13.28%

漁業収入向上のための取組	<p>○販売事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、主力魚種であるアカカマスについて、関東関西への直販を継続して実施し販売単価の向上を図る。また、アカカマス以外の魚種についても直販を検討する。</li> <li>・漁業者と漁協は、「伊王島日の出カマス」の安定した出荷を続ける。鮮度保持処理に係る機器を導入する。漁協は、市内飲食店との取引拡大に努める。</li> <li>・漁協は、アカカマスの直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の製造販売を行う。</li> <li>・漁業者と漁協は、毎月の朝市開催を継続し伊王島水産物の認知度向上を図り販売額の増加につなげる。</li> <li>・漁業者と加工組合は、需要が高まるクロカマス加工品「カマスティック」について、安定した原料確保に努めるとともに、製造量の増加に対応できる人員を確保する。また、各種イベントや商談会に出品し、更なる販路拡大に努める。</li> </ul> <p>○観光業との協業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、市内ホテルへの鮮魚・加工品の直販を継続するとともにニーズに合わせた商品開発を行い漁業収入の向上につなげる。</li> <li>・漁業者と漁協は、定置網漁業の導入に向けて漁業者と協議するほか必要な諸手続きを進める。</li> <li>・漁業者と漁協は、体験漁業等を受け入れるため地元観光事業者や地域おこし協力隊と連携して運営体制を整える。</li> </ul>
--------------	---

	<p>○漁場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、地元のダイバーと協力しながら食害生物の除去活動を継続し藻場の再生に取り組む。</li> <li>・漁業者は、休漁期間を設定しイセエビの資源保護に取り組む。</li> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底、プロペラ、舵清掃を徹底し燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁業者は、減速走行の徹底により燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティーネットへの加入を促進する。</li> </ul>
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、県、市との連携のもと公的支援事業を活用し、新規漁業就業者の確保・育成と新規漁業就業者の漁業技術の向上に取り組む。</li> <li>・漁協は、市との連携のもと伊王島朝市のPR及び伊王島豊漁祭の開催により伊王島の水産物の認知度向上と交流人口の拡大を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業 水産多面的機能発揮対策事業 経営体育成総合支援事業 漁業と漁村を支える人づくり事業 新たにチャレンジ水産経営応援事業</p>

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）15.48%

漁業収入向上のための取組	<p>○販売事業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、主力魚種であるアカカマスについて、関東関西への直販を継続して実施し販売単価の向上を図る。また、新たに開始した定置網の漁獲物など、アカカマス以外の魚種についても直販を試行する。</li> <li>・漁業者と漁協は、「伊王島日の出カマス」の安定した出荷を続ける。鮮度保持処理に係る機器を活用し品質向上を図る。漁協は、市内飲食店との取引拡大に努める。</li> <li>・漁協は、アカカマスの直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の製造販売を行う。</li> <li>・漁業者と漁協は、毎月の朝市開催を継続し伊王島水産物の認知度向上を図り販売額の増加につなげる。</li> <li>・漁業者と加工組合は、需要が高まるクロカマス加工品「カマスティック」について、安定した原料確保に努めるとともに、製造量の増加に対応できる人員を確保する。また、各種イベントや商談会に出品し、更なる販路拡大に努める。</li> </ul> <p>○観光業との協業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、市内ホテルへの鮮魚・加工品の直販を継続するとともにニーズに合わせた商品開発を行い漁業収入の向上につなげる。</li> <li>・漁業者と漁協は、定置網漁業について、本格的な漁獲を開始するとともに、定置網漁業を活用した体験漁業の受入についても試行する。</li> </ul> <p>○漁場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、地元のダイバーと協力しながら食害生物の除去活動を継続し藻場の再生に取り組む。</li> <li>・漁業者は、休漁期間を設定しイセエビの資源保護に取り組む。</li> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> </ul>
--------------	---

漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底、プロペラ、舵清掃を徹底し燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁業者は、減速走行の徹底により燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティーネットへの加入を促進する。</li> </ul>
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、県、市との連携のもと公的支援事業を活用し、新規漁業就業者の確保・育成と新規漁業就業者の漁業技術の向上に取り組む。</li> <li>・漁業者と漁協は、朝市の開催と伊王島日の出カマスを利用した地元PRにより交流人口の拡大を図る。</li> </ul>
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 水産多面的機能発揮対策事業 経営体育成総合支援事業 漁業と漁村を支える人づくり事業 新たにチャレンジ水産経営応援事業

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）17.69%

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○販売事業の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、主力魚種であるアカカマスについて、関東関西への直販を継続して実施し販売単価の向上を図る。また、新たに開始した定置網の漁獲物など、アカカマス以外の魚種についても直販を継続する。</li> <li>・漁業者と漁協は、「伊王島日の出カマス」の安定した出荷を続ける。鮮度保持処理に係る機器を活用し品質向上を図る。漁協は、市内飲食店との取引拡大に努める。</li> <li>・漁協は、アカカマスの直接買い取りによって魚価の安定を図るとともに、「伊王島日の出カマス」の加工品の製造販売を行う。</li> <li>・漁業者と漁協は、毎月の朝市開催を継続し伊王島水産物の認知度向上を図り販売額の増加につなげる。</li> <li>・漁業者と加工組合は、需要が高まるクロカマス加工品「カマスティック」について、安定した原料確保に努めるとともに、製造量の増加に対応できる人員を確保する。また、各種イベントや商談会に出品し、更なる販路拡大に努める。</li> </ul> </li> <li>○観光業との協業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、市内ホテルへの鮮魚・加工品の直販を継続するとともにニーズに合わせた商品開発を行い漁業収入の向上につなげる。</li> <li>・漁業者と漁協は、定置網漁業を活用した体験漁業等の受入を試行する。</li> </ul> </li> <li>○漁場環境の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、地元のダイバーと協力しながら食害生物の除去活動を継続し藻場の再生に取り組む。</li> <li>・漁業者は、休漁期間を設定しイセエビの資源保護に取り組む。</li> <li>・漁業者と漁協は、資源管理に取り組むとともに、種苗放流について対象魚種や放流方法の見直しを行う。</li> </ul> </li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者は、船底、プロペラ、舵清掃を徹底し燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁業者は、減速走行の徹底により燃油消費量を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティーネットへの加入を促進する。</li> </ul>
漁村の活性化のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者と漁協は、県、市との連携のもと公的支援事業を活用し、新規漁業就業者の確保・育成と新規漁業就業者の漁業技術の向上に取り組む。</li> <li>・漁業者と漁協は、朝市の開催と伊王島日の出カマスを利用した地元PRにより交流人口の拡大を図る。</li> </ul>

活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業 水産多面的機能発揮対策事業 経営体育成総合支援事業 漁業と漁村を支える人づくり事業 新たにチャレンジ水産経営応援事業
-----------	---

(5) 関係機関との連携

地元のホテルや地域おこし協力隊員と連携して水産物の活用及び漁業体験の提供を実施し漁村の活性化につなげる。長崎県・長崎市の指導協力のもとに取組を推進する。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の実施状況及び効果の発現状況を自ら評価し、それを踏まえた取り組みの改善を検討するため、地域水産業再生委員会を毎年1回開催し、その結果を今後の取り組みに反映させる。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

伊王島日の出カマスの単価	基準年	平成30年～令和4年の平均：	491	円/kg
	目標年	令和10年度：	540	円/kg

交流人口の拡大 (朝市の年間来場者数)	基準年	令和4年度：	3,000	人
	目標年	令和10年度：	5,000	人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

【伊王島日の出カマスの単価】

H30年からR4年までのアカカマスの平均単価491円から、10%の単価向上を目指す。

【交流人口の拡大】

広報を積極的に行うことで毎月開催する朝市で平均300人の来場者を見込むほか、豊漁祭と料理フェアの開催で1,500人の来島者を呼び込む。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油高騰による燃油費増に対応する施策を活用することにより、漁業経営の安定を図る。
水産多面的機能発揮対策事業（国）	漁業者グループによる藻場の再生事業に取り組む。
経営体育成総合支援事業（国）	後継者問題に対応するため、新規漁業就業者確保を積極的に進める。
漁業と漁村を支える人づくり事業（県）	後継者問題に対応するため、新規漁業就業者確保を積極的に進める。
新たにチャレンジ水産経営応援事業（県）	漁業者の所得向上、地域の活性化を図るため、水産施設や漁業機器等の整備を行う。